

11月に用途開拓 シンポジウム開催

形状記憶
合金協会

形状記憶合金協会
(会長・山内清東北大
教授)は11月の27日、
28日、福井県のユア
ズホテル・フクイで医
療を中心とした新用途
開拓に向けたシンポジ

ウムを開催する。当日は企業や大学の研究者らが多様な応用例について発表する。

同協会は93年設立。形状記憶合金の技術向上のため研究者の交流を進めているほか、普及活動も実施。ユーザ

ー業界を招いての講習会などを行っている。

招待講演では27日の

午後1時から筑波大学の宮崎修一教授が「形状記憶合金の工業化技術と今後の展望」について解説。28日の午前

9時からは東北大学医学部の高瀬圭助教が

「臨床医から見た形状記憶合金の血管治療への応用」の演題で医療現場の視点から語る。

現在、一般講演での

発表者を募集中。講演時間は20分間で、9月30日までの登録が必要となる。シンポジウムの参加締め切りは10月

31日。参加費用は会員が2万4000円、非会員が2万7000円となっている。

事務局では「研究報告シンポジウムや国際会議での事例報告など

協会の活動は内外から高い評価を受けている。学界、実業界からより多くの参加をお願

いしたい」と呼びかける。申込みは協会サイ

ト(<http://www.asma-jp.com/>)まで。